

常念乗越～大天井岳

2017.9/14～15 単独行

今年の山行計画の一つである、常念乗越～大天荘間を歩いて来ました。その区間は50年ほど前に職場の先輩から誘われて中房温泉～燕山荘（テント泊）～大天荘～常念乗越～一の沢～北海渡と歩きました。初めての登山で2日目はとても長い歩きで大変だった記憶があります。以降常念乗越～大天荘間だけは歩く機会がありませんでした。そろそろアルプス縦走登山から卒業する年齢になって来たのもう一度歩こうとの発想での山行でした。天候に恵まれて素晴らしい展望の「卒業登山」の2日間でした。

9/14（木、快晴）自宅 4：20～4：55 一の沢登山口 5：15～6：30 大滝
～6：55 烏帽子沢 7：05～8：10 胸突八丁 8：20～8：35 水場 8：55
～9：45 常念乗越（昼）11：05～12：25 横通岳～13：45 東天井岳～
15：20 大天荘（泊）

9/15（金、晴れ）6：00～大天井岳往復～6：45 分岐～8：15 大下りの頭
8：20～9：20 燕山荘 10：00～10：40 合戦小屋（昼）11：10～12：25
第二ベンチ～13：25 中房温泉 14：00 発のバス～14：36 山のたこ平～一
の沢へ車回収～ホテルアンビエント安曇野で入浴～松本 I C 18：33 着の高
速バスで帰省の息子を迎えに行って 19：10 帰宅。

又早く目が覚めてしまい早い出発となる。当初予定は逆コースであったが、中

房温泉便が 9 月からは土曜日を除き始発時間が遅くなってしまったので変更した。本当に今年は天候不順で登山には不向きな年になった。一の沢登山口に一番近い何時もの場所に駐車して薄暗い中ヘッドランプで歩き出す。此処は溪流釣りで毎年歩く道なので様子は分っているし、水場が多いので、空ペット持ってザックの重量を軽くする。最後の水場で水を補給して常念乗越へ。

常念乗越で



常念小屋前で



常念岳



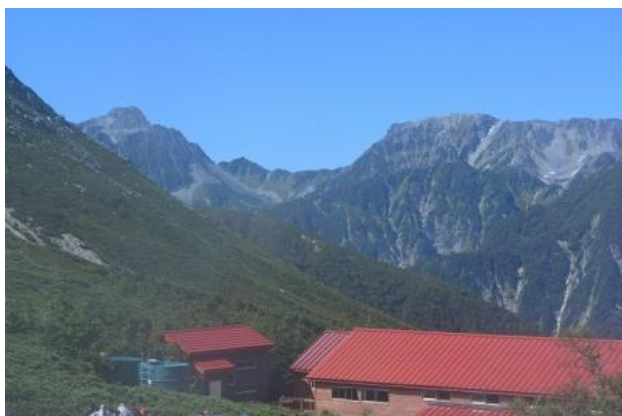
槍ヶ岳、手前は喜作新道



目の前には槍ヶ岳がクッキリとそびえ立っている。3年前に人工内耳装用者5名と登った時以来の懐かしい素晴らしい景観である。今までなら小屋で缶ビールを購入して早速飲む所だが、今回は年齢的な体力低下もあるし、この先横通

岳などアップダウンもあるので断念する。途中で追い抜いた3人組（内女性2名）が近くのテーブルで500ML缶を飲み始めたが。

大キレット



槍ヶ岳～大キレット～北穂～奥穂～前穂



北穂～奥穂～前穂と涸沢



時間がタツプリアるし、
槍ヶ岳を眺めながら早
昼を食べる。隣のソロ
登山の女性と山の話
をする。今日は常念岳に
登り常念小屋に泊まっ
て、明後日は天候悪く

なったので、明日は大天井ヒュッテ泊の予定を変更して燕山荘泊にしようと言っていた。山慣れた柔軟な対応の出来る方で感心する。夜行バスで来られたとの事だが寝不足で大変だろうと推測する。次回は槍ヶ岳登山との事、精力的な方だ。私は今まで泊まった事の無い大天井ヒュッテに予約していたが（牛首展

望台からの展望を見たくて)、息子が急遽明日帰省するとの事で松本ICまで迎えに行く必要性ができたので時間短縮の為に2年前に泊まった大天荘に変更の手配を携帯電話でする。此处にはドコモの臨時基地局があるので通話が可能である。

大休止後、今回の主目的の区間である大天荘までの登行を始める。大展望を楽しみながら、時々写真を撮りながらのノンビリ登山である。今回は珍しく重い一眼レフカメラを持参した。アルプス登山も体力的に末期になってきたので少しでも綺麗な写真を撮りたかったので。

横通岳山頂、奥は東天井岳



横通岳と東天井岳は日本百高地の山である。最近踏破を目指す人が増えてきたので、どこの百高地も踏み後がある。廃道になったが一ノ俣谷が見える。喜作新道や日本百高地の赤沢山も眺める。私も日本百高地は残り数座であるが蝙蝠岳・笹山等に登り損ねたので断念した。おまけで中天井岳にも登って大天荘に着いた。今日はコースタイムで8:05であるが、体力的にはもう8時間が限度のようだ。

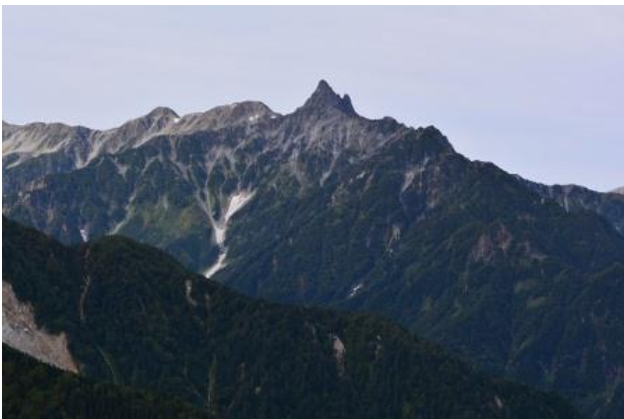
大天井岳山頂



書くと長くなりそうだし、不快になるので省略するが、大天荘の部屋割りには腹が立った。平等に扱えと文句を言ったら2階の40名位泊まれる大部屋に移されたが、何と私一人だけだった。

あてつけ？なのか？燕山荘は泊まりたい山小屋・泊まって良かった山小屋のトップのようだが、そのグループが経営する小屋でこんな対応では呆れた。山小屋料金を2食付1万円にトップを切って上げたのも気に入らない。夜中に目が覚めたら腹が立って寝られなかった。

北鎌・東鎌尾根



燕岳方面



燕岳と針ノ木岳



翌日は大天井岳の大展望を楽しんでから歩き易い表銀座縦走コースを燕山荘に向かう。段々遠くなる槍ヶ岳や裏銀座等の展望を楽しんだり、写真を撮っ

たりしながら、もう二度と歩く事は無いだろうとの気持ちを胸に。燕山荘前のベンチでコーヒータイム、福島県からの好青年と九州からのご夫婦と談笑しながら。九州から遠路車で来られるのだから大変であるが、それだけ北アルプスは魅力があるのだろう。当初予定の 15:55 発のバスを 14:00 発に変更するので、燕岳往復は省略して下山する。下りの膝が心配で「膝簡単テープ」をしようと思ったが面倒なのもあってやめてユックリ、ストックを上手に使って下山する。台風接近で悪天候が予想されるが、登ってくる人も多かった。

中房温泉へ下山



3連休で山小屋が混む時期だが。天候に恵まれて素晴らしい思い出に残る山行であった。(大天荘の1件が無ければ、最高だったが)

赤沼 健治